

# インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2007.9.23.

メッセージ  
「キリストの  
満ち溢れる  
祝福をもって」

ローマ15章22節-33節  
竿代照夫牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

ローマ人への手紙15章22節-33節

22 そういうわけで、私は、  
あなたがたのところに行くのを  
幾度も妨げられましたが、

23 今は、もうこの地方には私の  
働くべき所がなくなりましたし、  
また、イスパニヤに行くばあいは、  
あなたがたのところ立ち  
寄ることを多年希望していまし  
たので、

24 ——というのは、途中  
あなたがたに会い、まず、  
しばらくの間あなたがたととも  
にいて心を満たされてから、  
あなたがたに送られ、そこへ  
行きたいと望んでいるから  
です。 ——

25 ですが、今は、聖徒たちに  
奉仕するためにエルサレムへ  
行こうとしています。

26 それは、マケドニヤとアカヤ  
では、喜んでエルサレムの聖徒  
たちの中の貧しい人たちのため  
に醸金することにしたからです。

27 彼らは確かに喜んでそれをしたのですが、同時にまた、その人々に対してはその義務があるのです。異邦人は霊的なことでは、その人々からもらいものをしたのですから、物質的な物をもって彼らに奉仕すべきです。

28 それで、私はこのことを  
済ませ、彼らにこの実を確かに  
渡してから、あなたがたのとこ  
ろを通ってイスパニヤに行くこ  
とにします。

29 あなたがたのところに行く  
ときは、キリストの満ちあふれ  
る祝福をもって行くことと信じ  
ています。

30 兄弟たち。私たちの主  
イエス・キリストによって、  
また、御霊の愛によって切にお  
願いします。私のために、私と  
ともに力を尽くして神に祈って  
ください。



31 私がユダヤにいた不信仰な人々から救い出され、またエルサレムに対する私の奉仕が聖徒たちに受け入れられるものとなりますように。

32 その結果として、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところへ行き、あなたがたの中で、ともにいこいを得ることができるよう。

33 どうか、平和の神が、  
あなたがたすべてとともにいて  
くださいますように。アーメン。

# 説教

メッセージ

「キリストの満ちあふれる  
祝福をもって」

ローマ人への手紙15章22節-33節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「あなたがたのところに行くときは、キリストの満ちあふれる祝福をもって行くことと信じています。」

(ローマ15:29)

# A. パウロの遠大な宣教計画 (22-24節)

1. 異邦人の使徒としてのビジョン

2. スペインを目指して  
(使徒1:8)

3. 計画の挫折と克服

- ・ 諸教会のトラブル故の遅延
- ・ 一区切りをつけて計画再開



——:パウロの第三次伝道旅行

——:パウロのローマへの護送ルート

## B. エルサレム訪問への思い (25-29節)

1. 先ずエルサレムへ：  
募金を届けるため

## 2. 募金を届ける意味

- 母教会からの霊的祝福を物質の感謝で表わすため
- 世界大の教会の一体性を確認するため
- （保守的な）ユダヤのクリスチャンを福音の普遍性をもって開眼させるため



### 3. 旅行の計画・再述

- ・ 募金運動に一区切りをつける
- ・ 「祝福の充満をもって」  
ローマに行きたい  
(2コリント3:5、ヨハネ7:38)

# C. 祈りの依頼と祝祷 (30—33節)

## 1. 祷告の依頼

- 祷告はどうしても必要
- 他に乞うだけではなく、  
自分自身も祈る

- ・ 祷告は具体的
- ① エルサレムの反パウロ派の攻撃からの守り
- ② 献金が趣旨通りに受け入れられるように
- ③ パウロが喜びをもってローマに行けるように
- ・ この祈りは答えられたか？  
ノー&イエス

2. 祝禱：平和の神の臨在を！

終わりに

今週私達が会うべき人、  
行すべき業務、  
行くべき所を想定しつつ、

「私はキリストの満ち溢れる祝福  
をもって」行くと確信しよう